

倫理審査委員会における審査過程及び結果

(1) 倫理審査委員会の名称

国立研究開発法人国立成育医療研究センターヒトES細胞研究倫理審査委員会

(2) 倫理審査委員会の構成

	氏名	性別	法人の内・外	専門等*
◎	神里 彩子	女	外	人文・社会科学
	石野 史敏	男	外	自然科学
	田中 恭子 (欠席)	女	内	自然科学
	福島 慎吾	男	外	一般
	丸山 英二	男	外	人文・社会科学
	水留 正流	男	外	人文・社会科学
	渡辺 央美	女	外	自然科学

◎：委員長

計7名

※専門等には、「自然科学」、「人文・社会科学」、「一般」のいずれかを記載してください。

(3) 審査結果の概要

令和6年6月19日、使用機関の長の依頼を受け、新規使用計画「ヒトES細胞を用いた骨髄及び血液細胞分化の研究」について審査を実施した。審査では、研究責任者から研究概要の説明に続いて、以下の質疑応答があった。

- ・研究体制について、阿久津先生と李先生の2名で実施という理解でよろしいか。
→その通りである。

以上を経て、「ヒトES細胞の使用に関する指針ガイダンス」に基づき審査を行った結果、本件は承認とした。

倫理審査委員会における審査過程及び結果

(1)倫理審査委員会の名称

国立研究開発法人国立成育医療研究センターヒトES細胞研究倫理審査委員会

(2)倫理審査委員会の構成

	氏名	性別	法人の内・外	専門等*
◎	神里 彩子	女	外	人文・社会科学
	石野 史敏	男	外	自然科学
	田中 恭子	女	内	自然科学
	福島 慎吾	男	外	一般
	丸山 英二	男	外	人文・社会科学
	水留 正流	男	外	人文・社会科学
	渡辺 央美	女	外	自然科学

◎：委員長

計7名

※専門等には、「自然科学」、「人文・社会科学」、「一般」のいずれかを記載してください。

(3)審査結果の概要

令和6年6月19日、使用機関の長（代理）の依頼を受け、使用計画「ヒトES細胞の成体細胞への分化誘導系の構築と難治性疾患の基礎研究」の変更申請について審査を実施した。審査では、研究責任者から研究概要の説明を受けた上で、以下の質疑応答があった。

・本研究は、「ホモ接合体の作製によって多様性を持ったES細胞を作製する」という解釈でよいか改めて確認したい。

→その通りである。

・研究体制に変更はないか。

→現状同じ体制ではあるが、変更は検討中である。

変更が生じる際はまた別途変更申請を行いたい。

以上を経て、委員会では本計画につき特段問題なしとし、承認とした。